

相良南小たより

校訓:やさしく かしく たくましく

児童数: 202 PTA会員世帯数: 148
電話番号: 35-0009 (H29・6・22 第3号)

相良南小学校の教育目標

ふるさと相良を愛し 心豊かに たくましく生き抜く力を持つ子どもの育成
～3つの力『あいさつ・えがお・へんじ「はいっ!」』の定着を礎として～



相良南小学校とは、こんな学校です



- 1 本校は、命を大切にすることを育む学校です。
- 2 本校は、学力及び体力向上に取り組む学校です。
- 3 本校は、歯等の要治療者の「治療率100%」に取り組む学校です。
- 4 本校は、「学校版環境ISO（エコスクール）」を推進する学校です。
- 5 本校は、家庭生活リズムづくりを推進する学校です。

今月4日（日）には、「球磨郡PTA研究集会」が山江村で開催され、本校会員のみなさんと参加してきました。

本年度は、お隣の「やまえ大会」ということで、午前中の講演、午後からの分科会と、本校からご参加いただきました会員の方々には、ご多用の中にご参加いただきありがとうございます。来年度（H30年度）は、県Pが「球磨の地」で開催されます。県P球磨大会が球磨郡で開催されます関係で、本村及び本校PTAにも何らかの依頼があると思いますので、その時は、どうぞよろしくお願ひします。

「郡Pさがら大会」は、平成36年度の予定です。あと7年後です。

さて、やまえ大会の午前の講演会について、概要をお知らせします。

○講演者：岸 信子さん（七男三女の12人大家族のお母さん）

○講演題：「なりたいお母さん」

○講演概要

『長男が通っていた保育園の保育士さんが、卒園を前に、「お子さんが友だちをたくさんつくるには、お母さんがPTA役員になるといいですよ。」と言われ、PTA役員になり、それ以降、積極的に役員になり、先生方とも話す機会が多く、とても良かったと思います。

子どもは、一歩家を出たら、厳しい世界で戦っています。そのことを知ったある出来事がありますが、その時から、家に帰ってきたときぐらひは、「よく頑張ってきたね」とほめてやるようにしています。

子どもが頑張っているようになったことは、大いにほめてやるのが大切だと思う。保育園の同級生の子が、ボールつきができるようになった。私は、その子の頑張りを大いにたたえた。その子のお母さんが忙しそうにして、その子を迎えに来たときのこと、その子が「ボールつきができるようになったよ。」とうれしそうに言いました。すると、その子のお母さんは、その様子を見られ、一言声をかけられ、「帰るよ」と言って帰って行かれた。子どもは認めてもらいたい、いつも思っています。私は、自尊心を育てるようにしています。十人十色といいますが、わが子も三者三様です。

子には、子のやり方、考え方があるのだなと思います。私が心がけたのは、自分で考えさせ、その考えに母親として協力し、応援することだと思っています。うちの子は、とにかく忘れ物が多かったのですが、それぞれで考えて実行していました。

子どもたちも次々と小学校を卒業し、中学校に入学しましたが、それぞれに反抗期が始まりました。反抗期の反抗の仕方の子によって違いました。不機嫌な言い方、怒っているような話し方等、小言ばかり言うようになりました。また、髪の毛の色、まゆ毛がだんだん細くなり、学生服の格好もだらしなく見えてきました。何か言っていると、答えはいつも同じ、「別に」。私も、腹が立って、腹が立って言い合いもしました。どうやったら変わってくれるのだろう。悩みました。夫にも相談しました。人に言われても変わらないよ、と言われました。

色々考えていくうちに、母親が全て背負う必要なんかないんだ、母親にできることをやっていこうと決めた。その他のことは、他の人の力を借りよう、自分にできること、それは「大好きだよ」と言うこと、いつもこの言葉を言おうと決めました。いつも見守っているよ、いつもあなたのことを思ってくれる人がいるんだよ、という思いを込めて言いました。「○○ちゃん、大好きだよ」と。

こうしているうちに、次々と反抗期が過ぎ、反抗期は、終わるものだと思った。反抗期が終わったら、子どもたちは、「階段を一段上がったな」と感じた。

ある日、反抗期について、子どもたちに聞きました。

「どんな感じだった。どうして欲しかった。？」

「沸点を100度とすると、毎日、僕の沸点は、40度～60度だった。100度にはならないんだ。そっとしておいて欲しかった。自分では、悪いことだとはわかっているんだよ。でも、現状を見ると、何に対しても腹が立つんだ。」

その言葉を、わが子から聞いたとき、なるほどな、と思いました。

長男が成人式を迎えた時、いろいろなことが浮かんできました。

この子が20歳になるまで、たくさんの経験がこの子を育ててきた。そのたびに、たくさんの方が、この子に関わってくださった。いったい何人の人が関わってくださったのだろうか、数えてみました。今では、この子たちも大きくなり、これからが楽しみです。』(約90分の「概要」ですので、不明な点はご了承願います。)

学校の使命「学力・体力」を育む取組

『本校は、学力及び体力向上に取り組む学校です』

子どもたちの読書への関心を高めるために、「校内童話発表大会」を実施しましたところ、当日は、フリー参観日ということで、多くの方にご参観いただき、ありがとうございました。学年代表の発表でしたが、最後まで堂々と発表することができました。これまでの努力に敬意を払いたいと思います。

また、学年代表を決めるまで、学級全員で取り組み、一人一人が本を選び、暗記して、みんなの前で発表しました。こうした取り組みが、一人一人の子どもたちを成長させていくのだなと、この取り組みを通して感じた次第です。

なお、学校代表となった(年)さんは、夏休みに行われる管内の大会に南小を代表して出場してもらうことになりました。さんの発表に期待したいと思います。

【各学年の発表者及び本題名】

- 1年：
- 2年：
- 3年：
- 4年：
- 5年：
- 6年：

6年生「南北合同修学旅行記」

6月15日（木）から16日（金）にかけて、南小・北小合同で、修学旅行に行ってきました。梅雨の時期に入りましたが、期間中ほぼ天候にも恵まれ、所期の目的を達成できた旅行でした。しっかりした学習態度でしたので、行く先々で説明される方が感心されていました。6年生のおかげで、「南小」が有名になりました。旅行順に簡単にご報告します。

「南小支援地域連携協議会」終わる

6月21日(水)に、第1回目の「南小支援地域連携協議会」を実施しました。この組織は、学校・保護者・地域それぞれを代表して出席いただき、学校の課題等を話し合い、この3者が協力して「南小を支援していただく役目」の組織です。

この組織の立ち上げについては、本県教育委員会が積極的に各学校に推進依頼をしている事業の一つなのです。本県教育委員会では、「熊本版コミュニティ・スクール」と呼ばれていますが、組織名は、各学校でつけていいことになっています。第1回会議で、本会の名前が、「 」と決まりました。詳細については、次回号から連載します。

歯を守ろう8020

南小版「8020運動：治療100%」

『本校は、歯等の要治療者の「治療率100%」に取り組む学校です』



80歳まで、自分の歯を20本残そう



本年度の歯科検診が終了しました。「要治療」と診断されたお子様は、1学期中に治療を開始していただきますようお願いいたします。昨年度は、学校全体で「要治療者の治療率は、90.4%」でした。今年は、なんとしても100%を目指します。

【本年度の検診結果】

学年	むし歯なし		処置完了者		未治療歯保有者	
	H28	H29	H28	H29	H28	H29
1年生		9		1		6
2年生	26	23	2	6	16	→ 15
3年生	2	→ 11	11	→ 6	19	→ 15
4年生	9	→ 12	8	→ 7	13	→ 12
5年生	1	→ 24	17	→ 10	24	→ 10
6年生	15	→ 25	10	→ 8	7	→ 2

行事予定

7月の行事予定です。早いもので1学期もあと1ヶ月です。

- 6 / 28日(水)：村内教職員合同研修会(会場：南小学校)
- 30日(金)：漢字検定(全学年：「読み」だけの100問)
- 7 / 3日(月)：委員会活動(5・6年生)、「かけ算九九」の取組(全学年)
- 4日(火)：全校体育(8:20～縦割り班での大縄跳び)
「水俣に学ぶ肥後っ子教室」(南小・北小5年生参加)
- 5日(水)：集団宿泊教室～6日(南小・北小5年生参加)
- 7日(金)：学校生活アンケート(なかよしアンケート)
- 10日(月)：教育相談週間～14日
- 11日(火)：1学期末授業参観(6/8付案内済)、学級懇談会、1年親子給食
- 13日(木)：計算大会(全学年)、学級力調査(全学級)
- 14日(金)：クラブ活動(4年生以上)
- 18日(火)：全校体育(縦割り班での大縄跳び)
- 20日(木)：1学期終業式(給食有：午後放課)